

吹田市第4次総合計画基本計画改訂版素案概要

(計画期間:令和6年度(2024年度)から令和10年度(2028年度)まで)

基本計画の推進に当たって

1. 基本計画の進行管理

- PDCA サイクルによる進行管理
- Check (評価) の考え方
 - 施策指標を活用し、行政評価により基本計画の進行管理を行う
 - 市民意識指標により、実施した取組の成果を把握・分析
 - SDGsのゴールと第4次総合計画に掲げる19の政策との関連を整理し、国際社会が求める目標に本市が応えられているかも意識しながら取組を推進

2. 財政運営の基本方針

- 財政運営の基本方針
財政の健全性の維持と将来への必要な投資の両立を図りながら持続可能な財政運営を行う
- 目標
 - 市民ニーズに柔軟に対応できる財政構造を維持します。
 - ◆ 経常収支比率 95%以下
 - 継続して安定的な財政運営を行うための備えを確保します。
 - ◆ 財政調整基金残高の標準財政規模に対する割合 20%を確保
 - 将来世代への過度な財政負担を抑制しながら、本市の魅力の維持・向上を図るための必要な投資を行います。
 - ◆ 公債費比率 10%以下
 - ◆ 市債残高の標準財政規模に対する割合 100%以下
 - ◆ 赤字地方債の発行は、極力抑制

大綱3 福祉・健康

政策1 高齢者の暮らしを支えるまちづくり

超高齢社会

2025年に医療や介護の需要が増大する見込み

生きがいづくり・介護予防の取組

高齢者生きがい活動センター、吹田市民はつらつ元気大作戦

高齢者を見守り支え合える体制づくり

身近な場所での相談・支援体制の充実
住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう
地域包括ケアシステムを構築

- 3-1-1 生きがいづくりと社会参加の促進
- 3-1-2 暮らしを支える支援体制の充実
- 3-1-3 介護保険制度の安定的運営

見直しポイント

個別計画に合わせ、施策指標の目標値を見直し

政策3 地域での暮らしを支えるまちづくり

さまざまな分野の課題が絡んで複雑化

高齢者福祉、障がい者福祉、子育て支援等、分野を超えた包括的・総合的な支援体制の整備が必要

住民同士の助け合い活動が重要

地域福祉活動への支援強化と参加の促進
地域住民や地域で活動する多様な主体、関係機関、行政が連携・協働し、地域全体で支え合う仕組みの構築

政策2 障がい者の暮らしを支えるまちづくり

障がい者手帳を所持する人の増加

市民の18人に1人が障がい者手帳を所持

障がい者にとっても暮らしやすいまちづくり

障がいに対する理解を深めること、障がい者への差別的取扱いの禁止、合理的配慮のための具体的取組が求められている

地域で安心して自立して暮らせるまち

生涯にわたる切れ目のない相談・支援体制の構築
障がい者の社会参加の促進

- 3-2-1 生活支援など暮らしの基盤づくり
- 3-2-2 社会参加の促進

見直しポイント

合理的配慮・医療的ケアを必要とする障がい者について追加、新規指標を追加

総合的な生活保障の充実

支援体制の充実、相談窓口の周知

- 3-3-1 地域福祉の推進
- 3-3-2 生活困窮者への支援と社会保障制度の適正な運営

見直しポイント

個別計画に合わせ、地域共生社会に関し追加
新規指標を追加

大綱1 人権・市民自治

政策1 平和と人権を尊重するまちづくり

非核平和都市宣言

平和の尊さへの理解を深める取組

さまざまな啓発活動や人権教育の取組

人権問題の解決に向けた取組を推進

WRリボンプロジェクト

男女共同参画社会の実現とDV防止

1-1-1 非核平和への貢献

1-1-2 人権の保障

1-1-3 男女共同参画の推進

見直しポイント

社会情勢の変化に合わせ、性的マイノリティに関する現状と課題、施策を見直し

政策2 市民自治によるまちづくり

市民参画・市民協働

市民意見を市政へ反映
市民公益活動への支援
市民団体や事業者との協働

コミュニティ活動

コロナの地域活動への影響
ネットワーク型の活動の浸透・拡大
地域コミュニティの活性化・地域活動の担い手育成支援

1-2-1 情報共有の推進

1-2-2 市民参画・協働の推進

1-2-3 コミュニティ活動への支援

見直しポイント

コロナの影響や市民意見から得た地域活動の課題を追加
情報の利活用・市が保有する個人情報保護について追加
取組内容との整合性により施策指標の目標値を見直し

政策4 健康・医療のまちづくり

健康寿命の延伸・生活の質の向上をめざす

健康づくり都市宣言

健康増進や病気の予防・早期発見につながるさまざまな取組を推進

北大阪健康医療都市(健都)

循環器病予防を始めとした健康・医療のまちづくりを推進

生涯を通じた健康づくり

健都ならではの長を生かす
意識せずとも自然と「健康」につながる環境の整備

市保健所

健康危機管理体制の強化と公衆衛生の一層の向上

- 3-4-1 健康づくりの推進
- 3-4-2 健康で安全な生活の確保
- 3-4-3 地域医療体制の充実
- 3-4-4 健都を生かした健康づくりと医療イノベーションの促進

見直しポイント

個別計画に合わせ、施策や施策指標を見直し・追加
中核市移行により市保健所を有したことによる追加
及び新規施策の設定・新規指標を追加
健都における取組内容を追加し、施策指標の目標値を見直し

大綱2 防災・防犯

政策1 災害に強く安心して暮らせるまちづくり

さまざまな危機事象への対応

地震や気候変動に伴う自然災害、武力攻撃事態やテロ、新型コロナウイルスなどの危機事象への対応
集合住宅が多い本市の課題の再認識
社会的に弱い立場にある方々への配慮

災害への備えや対応

危機管理センターの整備
災害時応援協定の締結
情報伝達手段の多重化・多様化
消防通信指令業務共同運用等の近隣市との連携

安心安全の都市(まち)づくり宣言

市民、事業者との協働のもとで自助、共助の取組
防災意識の向上と若者や女性などの参画を推進
地域防災力・減災力の向上に向けた取組を充実

- 2-1-1 危機管理体制の充実
- 2-1-2 防災力・減災力の向上
- 2-1-3 消防・救急救命体制の充実

見直しポイント

帰宅困難者やエレベーター閉込といった発災時の課題、企業のBCPなどを追加
第4次総合計画策定後の取組を反映
業務継続計画や受援計画の充実、レジリエンス(回復力)、近隣市との連携などを追加
取組内容との整合性により、施策指標を追加

政策2 犯罪を許さないまちづくり

安心安全の都市(まち)づくり宣言

市民、事業者との協働で取組を推進
犯罪は増加傾向で、窃盗、女性や子供を狙った犯罪も後を絶たない
特殊詐欺の手口の巧妙化、犯罪の多様化・複雑化
成年年齢引下げに伴う若者を狙うトラブル懸念

地域における見守り強化

警察や地域、関係機関や防犯協議会等との連携
防犯カメラ増設や青色防犯パトロール活動支援
消費生活センター、学校での啓発
市内外の犯罪情勢を踏まえ、防犯意識の向上と地域防犯力の向上に向けた取組の充実

- 2-2-1 防犯力の向上
- 2-2-2 消費者意識の向上

見直しポイント

近年の犯罪発生動向や本市の取組内容を受けた現状と課題、施策の見直し
課題解決に向けた警察や地域、関係機関等とのパートナーシップの強化について追加
新規指標を追加

大綱4 子育て・学び

政策1 子育てしやすいまちづくり

就学前児童は減少傾向

保育所などの利用希望者が増加
子育てに負担や不安を感じる保護者が増加
妊産婦や子供及びその家庭が抱える問題の多様化

地域における子育て支援の充実・きめ細かな支援が必要

待機児童の解消、子育て相談等の実施
妊娠・出産から子育て期までの切れ目ない包括的な相談支援体制を構築（吹田版ネウボラ）

- 4-1-1 就学前の教育・保育の充実
- 4-1-2 地域の子育て支援の充実
- 4-1-3 配慮が必要な子供・家庭への支援

見直しポイント

「吹田版ネウボラ」を大綱3から移動、新規指標を追加、新たな課題（医療的ケア、ヤングケアラー）を追加

政策3 青少年がすこやかに育つまちづくり

青少年を取り巻く課題

教育力の低下やいじめ、不登校、ひきこもりなどの課題
留守家庭児童育成室の職員体制確保が困難
放課後の子供たちが安心して過ごし、学び、遊ぶことができるよう、学校や地域での多様な居場所の充実が必要

青少年が地域でさまざまな活動や体験ができる環境づくり

家庭、地域、学校のより一層の連携強化と取組の充実

- 4-3-1 青少年の健全育成
- 4-3-2 放課後の居場所の充実

見直しポイント

留守家庭児童育成室の待機児童の課題を追加し、施策指標を修正
地域での居場所も含めた充実の必要性等を追加

政策4 生涯にわたるまちづくり

生涯学習活動の場が多数

市民の学習ニーズの高度化・多様化への対応
生涯にわたって学習できる体制づくり
現代的課題に対する学習機会の充実、学習成果を地域に還元できるよう、発表や活用できる場の提供

- 4-4-1 生涯学習活動の支援
- 4-4-2 生涯学習環境の整備

見直しポイント

個別計画に合わせ、生涯学習の還元に係る文言を修正
新規指標を追加

政策2 学校教育の充実したまちづくり

さまざまな教育活動を通じた小中一貫教育

知識の習得だけでなく、主体的・対話的で深い学びを大切に

子供たちを取り巻く社会環境が急激に変化

多様化・複雑化したさまざまな課題へ対応するため、持続可能な社会の創り手となるための資質・能力を育むことが必要

子供たちのさまざまな悩みに対応

いじめや不登校、子供の体力低下への取組は喫緊の課題

魅力ある学校づくり

教員が本来の業務に専念できる環境整備に向けた抜本的な改革が必要

学校施設の老朽化への計画的な対応

築50年を超える学校施設が8割（R14）

- 4-2-1 学校教育の充実
- 4-2-2 学校教育環境の整備

見直しポイント

個別計画等に合わせ、子供たちを取り巻く社会環境の変化やいじめ対策、今後必要となる教育内容、「魅力ある学校づくり」について追加
新規指標を追加

大綱5 環境

政策1 環境先進都市のまちづくり

持続可能な社会の実現に向けた取組

気候変動、生物多様性の損失などの環境問題の解決に向けた国際的取組や本市の取組
自然共生に向けた取組として木材利用を促進
低炭素社会から脱炭素社会への転換
熱中症による健康被害の対策
災害廃棄物の円滑な処理

快適な生活環境の形成

身近な活動を通じた環境意識の向上促進

MOTTAINAI（もったいない）精神

エネルギーや資源等を大切にしたいライフスタイルの転換

- 5-1-1 脱炭素社会への転換の推進
- 5-1-2 資源を大切にする社会システムの形成
- 5-1-3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進

見直しポイント

生態系回復に向けた国際的取組、地域循環共生圏、災害廃棄物処理、熱中症について追加
個別計画や取組内容に合わせ、現状と課題、施策指標の目標値を見直し
新規指標を追加
中核市移行による業務に関連し、施策を見直し

大綱7 都市魅力

政策1 地域経済の活性化を図るまちづくり

地域の産業振興と創業支援

中小企業の経営基盤強化、創業支援が必要
魅力ある商店街づくり

雇用・労働環境

少子高齢化による労働力人口の減少
多様な働き方ができる環境づくり、就労支援

- 7-1-1 産業振興と創業支援
- 7-1-2 就労と働きやすい環境づくりへの支援

見直しポイント

コロナの影響・災害への備え・デジタル化への対応について追加
働き方改革を受けた追加、新規指標を追加

政策3 市民が愛着をもてるまちづくり

充実したまちの魅力

高い交通利便性、豊かなみどり、良好な住環境
多くの企業や大学が立地し訪れる人が多い
魅力の市内外への広がり・情報発信が重要

本市独自の強み

5大学が立地することによるまちの魅力向上
ガンバ大阪とのホームタウン活動

政策2 文化・スポーツに親しめるまちづくり

文化や芸術にふれられる環境

文化活動への支援、文化財の保存・活用

多文化共生社会

多文化共生社会の実現に向けた多角的な取組

スポーツや運動による健康づくり

健康寿命の延伸や地域のつながりを深める役割

- 7-2-1 文化の振興
- 7-2-2 文化財の保存と活用
- 7-2-3 地域におけるスポーツの振興

見直しポイント

多文化共生社会について追加
スポーツの役割を追加、新規指標を追加

- 7-3-1 魅力の向上と発信
- 7-3-2 本市独自の強みを生かしたまちづくり

見直しポイント

2025大阪・関西万博を見据えた追加
「住み続けたいまちづくり」に関する追加
新規指標を追加

大綱6 都市形成

政策1 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり

計画的なまちづくり

土地区画整理事業の実施
適切な開発誘導や共同住宅を始めとした既存の建築物の適正管理の促進

みどりが調和した都市空間

みどり豊かで安全・快適な、魅力ある、地域らしさを備えた都市空間の形成

- 6-1-1 土地利用誘導と良好な景観形成
- 6-1-2 良好な住環境の形成
- 6-1-3 みどりの保全と創出

見直しポイント

中核市移行に伴う条例施行や、個別計画に合わせ、現状と課題、施策を見直し
取組内容との整合を図り、指標を新規追加、目標値を見直し

政策2 安全・快適な都市を支える基盤づくり

道路、水道、下水道等の都市施設の計画的な整備

公衆衛生の観点から上下水道の重要性を再認識
災害の頻発により、都市基盤の更なる強化が必要

公共交通を取り巻く環境

コロナに伴う新しい生活様式の浸透などにより、厳しさを増す

自転車利用の増加

安全で快適な通行空間整備と交通ルールの周知

- 6-2-1 道路などの整備
- 6-2-2 水道の整備
- 6-2-3 下水道の整備
- 6-2-4 交通環境の整備

見直しポイント

コロナの影響や個別計画に合わせ、現状と課題、施策を見直し
市民意見を反映し、施策に街路樹再整備を追加

大綱8 行政経営

政策1 行政資源の効果的活用

中核市移行

広域行政が担う事務を基礎自治体として推進
中核市4市「NATS」などの他自治体間連携

持続可能な組織づくり

DXも含め行政運営の効率化を推進することで、限られた財源と人材の有効活用を図ることが必要

公共施設の老朽化

最適な整備・配置・維持保全の実施

- 8-1-1 効果的・効率的な行財政運営の推進
- 8-1-2 公共施設の最適化
- 8-1-3 働きやすい職場づくり・人材育成の推進
- 8-1-4 ICTの利活用

見直しポイント

中核市移行に伴う権限拡大、財政規模の拡大、DXの進展等による見直し
新規指標を追加
個別計画、関連法令に合わせた見直し